

GunMaaS

GunMaaS 登録者の過半数が県外 開始から半年 県民の反応鈍く

交通・次世代産業振興特別委員会で酒井県議は5日、今年3月から始まったGunMaaS（バスやタクシーなど検索から予約、決済までスマホ一つで完結できるシステム）の利用状況などをたどりました。現在、約8千人が登録しています。しかし、登録者の内訳をみると県内登録者は47%にとどまり、県外が過半数を占めていること、市町村別の統計はとっておらず、前橋市民の登録状況すら把握できていないことが明らかになりました。また、利用件数のうち、ルートの実タイム検索が約半分を占めています。

前橋市民限定の割引料金を利用するには、交通系ICカードとマイナンバーカードの登録が必要です。県民からは「そもそも必要性を感じない」「スマホ画面の文字が見つらい」「ルート検索の使い勝手がよくない」などの声もあがっています。県は今後、ルート検索機能の改善や、タクシー業者の参入促進、高齢者向けの講習などに努めるとしていますが、県民の反応は鈍いようです。